

# 家庭／技術・家庭

## 道具を操作する

| <困難さ>                        | <指導の工夫の意図>                   |
|------------------------------|------------------------------|
| 周囲の状況に気をとられやすく道具を安全に扱うことが難しい | 落ち着いて学習に参加し道具を安全に扱うことができるように |


### <手立て>

| ① 道具に印をつける   | ② ミシン等の速度を調整する   |
|--|--|
| <p>・刃物などの道具を使用する際には、刃体を触らないように、持ち手に印をつけることで、持つ部分を意識することができる。</p>  <p><b>ポイント！</b><br/>正しい持ち方を習得することで安全に取り扱う事ができるようになる。</p> | <p>・ミシンの動きに集中できるようにミシンの速度を低速に調整し、針先への意識付けを図る。</p>  <p><b>ポイント①！</b><br/>速度を上げることで集中が増す場合もあるので適切な速度に調整する必要がある。</p> <p><b>ポイント②！</b><br/>布に視線を向けやすいよう、線の色や太さを変えて示すことも有効である。</p> |

## 聞く・聞き取る

| <困難さ>                       | <指導の工夫の意図>                     |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 言葉での説明や指示だけでは安全に気を付けることが難しい | 説明や指示の意味を理解しなぜ危険なのかをイメージできるように |

### <手立て>

| ① 約束事を掲示し、随時確認できるようにする   | ② 活動内容や手順等を、ICT機器を活用して明示する  |
|--|---|
| <p>・安全面での約束事について、いつでも確認できるように、掲示物を作成する。</p>  <p><b>ポイント！</b><br/>活動前に確認することで意識付けすることができる。活動内容によっては、手元で確認することができるようになるとより効果的である。</p> | <p>・活動内容や操作方法、手順について、ICT機器等で視覚的に確認できるようにする。</p>  <p><b>ポイント！</b><br/>適切な道具の使用が事故を防ぐということを学習し、危険認知を高めることにつなげていくことができる。</p> |

## 聞く・聞き取る

## イメージする・想像する

### <困難さ>

言葉や文字説明では活動内容を理解できず  
活動のポイントをつかむことが難しい

### <指導の工夫の意図>

視覚的情報を活用し  
具体的に活動のポイントを確認できるように

### <手立て>

写真や動画などを活用し、視覚的に提示する

- ・ 本人の視点で写真を撮って活動のポイントを示す。



#### ポイント①!

のこぎりの角度や体の向き、材料の固定方法など具体的なポイントについて、本人の視点で撮影し、示すことで理解が深まる。

#### ポイント②!

ミシン操作の際の手の位置や、調理実習の道具の使用方法等を本人の視点で示すことで、ポイントを確認することができる。



- ・ 道具の操作方法を動画や画像で示す。
- ・ タブレット端末等を手元に置き動画や静止画で確認しながら活動する。

#### ポイント!

教師がモデルとなり、適切な操作方法を動画などで示すようにすることで、活動のイメージをつかむことができる。

初めての操作に対する心理的な不安も軽減でき、安心して活動に取り組むことが期待できる。

